

## 令和8年度岐阜県青少年美術展少年部の選定評

絵画・デザイン	幼・保	<p>いまにも動き出しそうな絵が多く、画用紙いっぱいに表示された迫力ある作品である。絵の具で大胆に描く表現があったり、パスで細かく描かれていたり年齢によって、こだわったところが表現されていたと思う。今後も日常の経験で感じることや感動、幼児ならではの視点が作品に反映され、描くことの楽しさを体験して欲しい。</p>
	小学校 低学年	<p>お話から自由に想像を広げたり、楽しかった体験を思い出したりしながら、その時の気持ちをのびのびと表現した作品が多く見られた。クレヨンで力強く描いたり、水彩絵の具を効果的に塗り重ねたり、発達段階に応じた工夫が光る。自分の表したい世界を夢中になって取り組んだ様子が真っ直ぐに伝わってきた。</p>
	小学校 高学年	<p>心動かされたことから主題を得て、絵の具、パス、版など、学んだ方法を生かし、自分だけの作品をつくり出している。学年に応じて、色や形などの組み合わせや、描画材の扱い方なども工夫している。どの作品も丁寧で、自分のイメージとなるよう粘り強く取り組む姿がうかがえる。これからも自分らしく表現し、楽しさを味わってほしいと願っている。</p>
	中学校	<p>主題を大切にしながら、モチーフのもつ美しさや魅力を生かした表現ができています。正面だけでなく様々な方向から見つめて描かれた作品も多く、画面に広がりが生まれていた。多彩な色の表現はもちろん、伝統的な版画や透明感を生み出す絵の具の使い方など、誰もが観て楽しめる作品になっていた。今後も主題を表すための表現方法の工夫に期待する。</p>
書写	幼・保 小学校 低学年	<p>どの作品も、力強く、のびのびと書かれており、リズム感が伝わってきた。また、とめ、はらい、むすびなど、平仮名ならではの筆遣いに気を付けながら、一文字一文字丁寧に書かれていた。低学年であっても、次の画に向かう筆の流れが感じられる作品も見られ、感心した。</p> <p>これからも、筆で文字を書くことで表現する楽しさを味わってほしい。</p>
	小学校 高学年	<p>どの作品も日ごろ学んだことを生かして書かれていることが感じられた。始筆、送筆、終筆を考えた筆運びや、とめ、はね、はらいを意識した作品が多く見られた。横画や縦画の等間隔であるため、字形が整っていた。</p> <p>今後も自分だけの一枚に仕上げていくために、名前を含めた作品作りを楽しんでもらいたい。</p>
	中学校	<p>選んだ言葉に合わせて、力強さややわらかな筆運びで自分の思いを表現できている作品が多く見られた。また、楷書、行書、点画等それぞれの基本を押さえつつも、自分なりの表現方法を考えながら作品作りがなされていた。氏名を含めた全体のバランスにもよく配慮し、作品全体への意識がよく表されている。今後も書の楽しさを味わいつつ、ぜひ長く書道に親しんでいただきたい。</p>